



進まん

学校
だ
よ
り

新発田市立七葉中学校
新発田市上館乙84番2
電話 0254-22-3524
令和2年5月11日 第13号

4月6日(月)、新入生30名を迎え、全校生徒は121名となりました。令和2年度の入学式にて、「七葉中学校へ入学する意味は何か」を新入生全員で考えました。

新発田市立七葉中学校入学式 式辞

「七葉中学校に進学する意味」 校長 野澤 一吉

私から入学に当たり、考えてもらいたいことをお話します。それは、七葉中学校に進学する意味です。日本は、義務教育の制度があります。もちろん、義務教育だからという理由はその一つです。しかし、この理由は、消極的な理由であると考えます。

みなさんに考えてほしいのは、積極的な理由です。つまり、中学校へ通う意味は何かという答えです。

ここでは、先ず二つのことを考えます。

一つ目は、学校は、みんなが成長するためにあるということです。当校は、昨年度創立40周年を終え、今年度から50周年に向けて、新たな学校を創り上げなければなりません。その年に入学してきた新しい力がみなさんです。2年生、3年生の先輩と小学生である後輩のことを考えて、みんなが成長できる新しい七葉中学校の文化を創らなければならないのです。

二つ目は、みなさんは、小学校のリーダーであったということです。中学校は3つ、小学校は6つの学年があります。つまり、みなさんは、中学校の2倍もある学校のトップのリーダーでした。集団登校、運動会など、みなさんは、後輩をリードしながら活躍してきました。6年間もかけて付けてきた力は、相当なものがあります。学力、体力、話し合う力、我慢する力、支え合う力など。しかし、これらの力には、自分よりも高い人がいます。それが、中学校です。中学校で、これまで付けた力を発揮する必要があります。最初は、うまくいくはずがありません。新しい学校で生活するのですから当然です。上級生に学ぶのですが、小学校では、みなさんはトップのリーダーであったこと、これは大きな自信になります。

新しい学校文化を創ること、自信をもって生活すること、この2つを成し遂げるためにお願いがあります。それは、「主体」になることです。

みなさんは、これまで自主的に活動してきました。学級や学年ですること、地域や家庭ですることなど、人の指示や助言を参考にしながら自ら活動してきました。

中学校では、この自主を超えて主体を目指すのです。

みなさんの前には、これからたくさんの課題が現れます。それらを克服することで、新しい自分と出会います。それが中学校です。多くの課題が現れたら、どのように取り組んだら良いのか考えます。そして、実践します。最後に振り返ります。この一連の取組を、周りの指示ではなく自分で行うのです。

これが、主体です。

迷ったり、悩んだりしたら、信頼の置ける人と相談します。みなさんの周りには、たくさん応援する人がいます。十分相談したら、思い切って取り組むのです。

約800年前、加治の地を治めていた佐々木盛綱氏が、要害山にすむ美しい人から七つの宝をもらいました。その宝を大切に保管するために土に埋めました。埋めた所に五葉松を植えたところ、この世には存在しない「七葉の松」に変わったといわれています。つまり、私たちの七葉中学校には、七つの宝があるのです。

この七つの宝と出会うために、主体となって活動し、新しい七葉中文化を創るのです。

